

防災訓練の計画立案から実施迄のプロセスと役割分担

2022 年 4 月

小和田地区まちぢから協議会 防災部会

■安否確認訓練の場合

プロセス	役割分担				
	防災部会	まちぢから協議会	自治会連合会	自治会	住民
①計画立案	○				
②企画書作成	○				
③企画提案	○				
④企画検討		*1○			
⑤連合会実施準備 自治会向開催要領作成・配布 (ポスター・チラシ等含) 会場手配 (*2 災害対策地区防災拠点 (対策本部)) 機材準備 (トランシーバー等)			○ ○ ○		
⑥自治会実施準備 住民向開催案内作成・配布 開催案内の掲示 会場手配 (*3 地域活動拠点 (対応拠点)) *4 連絡員選任 (1 名以上) 機材準備 (トランシーバー等)				○ ○ ○ ○ ○	
⑦訓練実施 訓練への参加 対策本部への連絡員配置 (1 名以上) (トランシーバー持参) 安否表示の提示 安否表示の確認 対応拠点での集計と報告 対策本部での集計 市の対策本部に報告	○	○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○
⑧評価・反省			○		
⑨次期訓練への反映	○		○		
⑩その他 訓練の補助金申請			○	○	

*1 まち協役員会に 6 自治会会長を含んだ会議により提案内容を審議する。

*2 災害対策地区防災拠点 (対策本部) は自治会連合会で設定するものとする。

*3 地域活動拠点 (対応拠点) は各自治会で設定するものとする。

*4 各自治会は対策本部に連絡員を派遣する。連絡員は、対応拠点からの集計結果を対策本部に報告する。